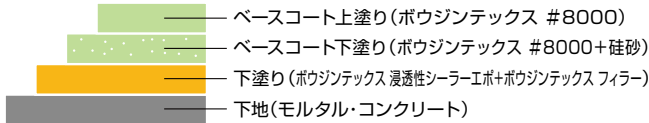
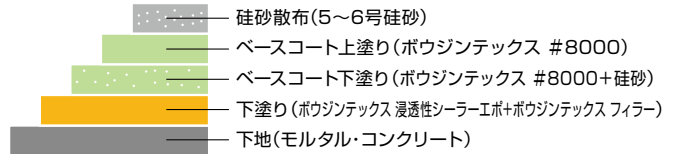


# 塗装工程 ペースト工法 (膜厚2~3mm)

## 平滑仕上げ



## 防滑仕上げ



# 塗装仕様

### ■平滑仕上げ (平滑約2mm仕上げ)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分子率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 珪砂10kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	2.2 (珪砂含む)	11.4	20分	—	16h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	1.0	15	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

\*下塗り塗装の際、すい込みがばい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1h以上)

### ■防滑仕上げ (防滑約2mm仕上げ)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分子率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 珪砂10kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	2.6 (珪砂含む)	9.6	20分	—	16h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	3% (専用希釈剤)	金ゴテ レーキ	1	0.5	30	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上
珪砂散布	上塗り塗装と同時に5号珪砂(0.3~0.4kg/㎡)を均一に散布し、直後にもう一度ローラーを転がす。									

\*下塗り塗装の際、すい込みがばい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1h以上)

### ◎抗菌工法の場合 (ベースコート上塗りに「ボウジンテックス #8000抗菌」を使用することにより、抗菌仕様が可能となります。)

ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000抗菌 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	1.0	15	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上
---------------	---------------------------------------	-----	------------	---	-----	----	-----	---	---	-------------------

\*抗菌工法は上塗りにボウジンテックス #8000抗菌をご使用ください。

### アンダーコート仕様 (ベースコート下塗材および中塗材に「ボウジンテックス #8000」の代わりに「ボウジンテックス #8000アンダーコート」を使用することにより経済的な仕様が可能です。)

ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000アンダーコート 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 珪砂10kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	2.2 (珪砂含む)	11.4	20分	—	16h以上 48h以内	—
---------------	--	-----	------------	---	---------------	------	-----	---	----------------	---

\*ベースコート下塗材に上記ボウジンテックス #8000アンダーコートを使用することにより、経済的な仕様が可能です。

\*上塗り材のボウジンテックス #8000が欠損した場合、アンダーコートのグレー色が目立ちますのでご注意ください。

# 注意事項

- 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想される時は、硬化不良を起こすことがありますので施工を見合わせてください。
- エポキシ樹脂塗料は直射日光により変色いたしますので、外部への塗装は避けてください。なお、日差し入り込む窓際への塗装もご注意ください。
- 低温時に施工した塗膜は水と接触すると表面白化する場合があります。施工後の清掃において水拭きした場合、塗膜表面が白化しますので空拭きにて清掃してください。  
万一、水を含んだモップ等に清掃された場合、水を含んでいないモップにて水分を完全に拭き取ってください。
- 主剤と硬化剤の混合はハンドミキサーで泡を巻き込まないように充分攪拌してください。
- 攪拌後は速やかに被塗面に流してください。(可使時間内にご使用ください。)
- クラック・フウセン等の処理は、下塗り養生後、エポキシパテおよび増粘剤調整塗料にて行ってください。
- 粘度調整で希釈を行う場合は、専用希釈剤を塗料(主剤+硬化剤)に対して、約1%から約3%までの添加にしてください。  
また他のシンナー等での希釈は行わないでください。強度不足・硬化不良の原因となります。
- ベースコート下塗りに使用する珪砂は6~7号珪砂をご使用ください。
- 平滑仕上げに使用する珪砂は5~6号珪砂を使用し、ベースコート上塗りを金ゴテで広げ後に珪砂散布し、ローラーにて面を整えてください。
- 冬季は、10℃以下の低温となりやすく、見かけ上乾燥していても実際は硬化不十分でクラックや剥離を生じる場合がありますので、ボウジンテックス #8000塗装後のマークストップは施工不可となります。
- 塗膜や塗料取り扱い時には、換気気を付けて火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- 静電気をさらう床には施工しないでください。
- 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。